



保健文化賞

募集要綱



第 76 回

(2024年度)

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団



ごあいさつ

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 隅野俊亮

保健文化賞は、今年で第76回を迎えることとなりました。

この間、社会的評価も高まり、今日では、保健衛生の分野において権威ある賞として認められておりますことは、主催者といたしまして誠に喜ばしくかつ光栄なことと存じます。これもひとえに受賞者の方々のご献身は申すまでもなく、厚生労働省ならびに朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の長年にわたるご後援と、関係各方面の皆さま方のご支援、ご協力の賜物と存じ、ここにあらためて衷心よりお礼申し上げます。

当社は創業以来、生命保険業を通じた社会への貢献とともに、健康増進や保健衛生の向上などに努めてまいりました。1934年には「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない1950年には、衛生環境が悪化する中で、保健衛生に従事するの方々のご功績やご労苦に対し、感謝と敬意を捧げるために本賞を創設いたしました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を顕彰してまいりました。これまでの顕彰数は団体732、個人375名、合わせて1,107件にのぼります。70年以上もの長い時間をかけて1千件を超える方々に賞をお贈りできましたのも、受賞された皆さまが地域に密着しながらひたむきに活動を継続され、広く社会に貢献されているからこそであり、ここにあらためて受賞された全ての皆さま方に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

当社は、今後も生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで社会に貢献してまいるとともに、本賞を通じて、今後も微力ながら保健衛生の向上に寄与していく所存です。引続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第76回 保健文化賞要綱

- 主 催 第一生命保険株式会社
- 後 援 厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団
- 対 象
 1. 保健衛生（関連する福祉等を含む）を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
 2. 保健衛生（関連する福祉等を含む）の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
- 応 募
 - ・応募用紙は規定の用紙（候補者調書）を使用すること
ダウンロードはこちらから↓
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>
 - ・必ず推薦者を得て提出のこと
 - ・記入後の応募用紙は、現物とワードデータの両方を送付ください。
（現物は郵送、ワードデータはEメール）
郵送先：〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1（TEL050-3780-6950）
第一生命保険株式会社 コーポレートコミュニケーション部
保健文化賞担当
Eメール：hobun1950@daiichilife.com
- 審 査 審査委員会が行なう（審査委員は次頁のとおり）
- 表 彰 受賞者全員に以下をそれぞれ贈呈する
厚生労働大臣賞（表彰状）
第一生命賞（感謝状：賞金 団体200万円、個人100万円）
朝日新聞厚生文化事業団賞（記念品）
NHK厚生文化事業団賞（記念品）
- 表彰場所 東京
- 日 程
 - ・募集開始 2024年2月1日（木）
 - ・締切日 2024年4月15日（月） 当日消印有効
 - ・審査・発表 2024年9月上旬
 - ・表彰期日 2024年秋

審査委員名

(敬称略 2024.1.1現在)

■学識経験者 (所属名五十音順)

北里研究所理事長	小森	林	弘	祐
結核予防会結核研究所名誉所長	森			亨
国立医薬品食品衛生研究所長	本	間	正	充
国立感染症研究所長	脇	田	隆	字
国立保健医療科学院長	曾	根	智	史
東京大学医科学研究所長	中	西		真
日本公衆衛生協会理事長	松	谷	有	希
日本放送協会会長	稲	葉	延	雄

■厚生労働省

医務技監	迫	井	正	深
危機管理・医務技術総括審議官	森	光	敬	子
医政局長	浅	沼	一	成
健康・生活衛生局長	大	坪	寛	子
健康・生活衛生局感染症対策部長	佐	木	昌	弘
医薬局長	城		克	文
社会・援護局障害保健福祉部長	辺	見		聡
老健局長	間	原	隆	一
保険局長	伊		和	郎

■こども家庭庁

成育局長	藤	原	朋	子
------	---	---	---	---

■朝日新聞厚生文化事業団

理事	藤	井	龍	也
業務執行理事	是	永	一	好

■NHK厚生文化事業団

理事	高	橋	正	尚
常務理事	石	川		信

■第一生命保険株式会社

代表取締役社長	隅	野	俊	亮
取締役常務執行役員	竹	内	章	二

応募にあたっての留意事項

応募にあたっては第76回保健文化賞要綱によりますが、次の点にご留意ください。

1. 保健文化賞の対象となる保健衛生（関連する福祉等を含む）とは、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等をいいます。
2. 日本国内に限らず、国外における活動も対象とします。
3. 純学術的なものより、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動を対象とします。
4. 推薦者を必要とし、自薦ではなく他薦とします。なお、下記の各種団体（※）には推薦協力を依頼しています。
5. 推薦者は応募者の承諾を得て推薦するものとします。
6. 同一功績による団体とその団体に属する個人が同時に応募することはできません。
7. 提出書類は返還しません。
8. 受賞決定後、受賞者名・職業および都道府県名等を公表します。
9. 候補者調書など関係書類の内容に事実と異なる記載がある場合や、本賞の授与にふさわしくないと判断される事実が判明した場合は、受賞した後であっても受賞が取り消される場合があります。
10. 要綱は、第一生命ホームページにも掲載しています。

応募用紙（候補者調書）は、ホームページよりダウンロードできます。

・ 第一生命ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp>

・ 応募用紙（候補者調書）ダウンロードはこちらから↓

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>

<団体の応募の対象>

11. 団体としての活動実績が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できるものとします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
12. 過去に以下の表彰歴のある団体は応募の対象としません。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞している団体。
 - ・過去20年以内に保健文化賞を受賞した個人が代表を務めている又は代表を務めていた団体。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去20年以内に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方が代表を務めている又は代表を務めていた団体にあつては、それと同一功績での応募。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた団体。

<個人の応募の対象>

13. 年齢が原則として50歳以上で、活動年数が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できる方とします。ただし、新型コロナウイルス感染症対策を主たる目的とする活動に限り、活動年数は問いません。
14. 国・都道府県・指定都市等の本省庁職員、特別職公務員およびこれらに準ずる職種の方は対象としません。ただし、これらの職種の方についても、離職後は対象となりますが、公務としての業績は対象としません。
15. 過去に以下の表彰歴のある方は応募の対象としません。
 - ・過去に保健文化賞を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去に叙勲又は褒章（紺綬褒章を除く）を受けた方。
 - ・過去に、「医療功労賞」「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」などの天皇皇后両陛下の拝謁を賜る厚生労働大臣表彰を受賞した方および受賞した団体の代表であった方。
 - ・過去10年以内に同一功績により厚生労働大臣表彰を受けた方。
16. 個人の受賞の対象は、審査委員会時に存命である方とします。

(※) 推薦協力を依頼している団体

都道府県、指定都市、中核市、保健所政令市、特別区や、医学部、歯学部、薬学部、看護学部又は福祉学部を有する大学、その他関係機関および団体等（P.38「推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋」参照）

保健文化賞の経緯

保健文化賞は、1950年（昭和25年）以来、第一生命保険株式会社が毎年主催し、厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団の後援により、保健衛生および関連する福祉等の分野でご尽力されている団体および個人を顕彰してまいりました。

長い歴史の中では様々な課題が生じています。創設当時には、結核等の感染症や栄養不足が喫緊の課題であったことから、これらの分野での活躍を応援してまいりました。

現在では、がんや生活習慣病といった慢性疾患、高齢化に伴う高齢者・障がい者福祉、さらに、国際保健分野等、幅広い課題に多くの方々取り組まれています。

今後も、人々の健康と暮らしを支え、時代の流れとともに生まれる課題に対して地道に活動される方々を応援していくことが、保健文化賞の変わらぬ役割です。

創設から現在まで

1949年（昭和24年）6月	第一生命の社員総代会にて保健文化賞設立を決議
1950年（昭和25年）1月	保健文化賞設定趣意書を設定
1950年（昭和25年）3月	厚生省、朝日新聞厚生文化事業団の後援のもと、朝日新聞東京本社講堂にて第1回贈呈式を開催
1959年（昭和34年）（第11回）	天皇皇后両陛下の拝謁が始まる
1962年（昭和37年）（第14回）	NHK 厚生文化事業団が後援に加わる
1978年（昭和53年）（第30回）	「保健文化賞30年のあゆみ」を発行
1987年（昭和62年）（第38回）	受賞者業績集「保健衛生の向上を願って」の発行を開始 (以降、第60回まで毎年発行)
1998年（平成10年）（第50回）	「保健文化賞50年のあゆみ」を発行
2008年（平成20年）（第60回）	「保健文化賞60年のあゆみ」DVDを発行
2016年（平成28年）（第68回）	受賞件数が1,000件を超過
2019年（平成31年）4月	「保健文化賞70年のあゆみ」を発行

保健文化賞設定趣意書

我が国における公衆衛生の思想及び施設は、戦争中から著しく低下衰退致しまして、真に憂慮すべき状態に立至っておりましたが、終戦後、連合軍の熱心な指導と政府の積極的な努力と施策によって、逐次改善に向いつつあることは御同慶に堪えません。しかしながら一般の現状はいまだ決して満足すべき域に達しておらず、とくにこれを先進諸外国の実情と比較致しますと、前途なお遥かなりの感なきを得ません。

今後、我が国が文化的平和的国家として発展するためにも、一般衛生思想の普及と保健施設の拡充強化は、誠に焦眉の急務でありまして、健全明朗な文化は、この基礎あって初めて育成されるものと存じます。

弊社は今回右の見地に立って、剰余金の一部をさき、厚生省並びに朝日新聞厚生文化事業団の御後援を得て、保健衛生施策向上のために、別記要綱による保健文化賞を設定することと致しました。

御承知の通り、弊社においては、生命保険事業が社会公共性をその本質としている点にかんがみ、去る昭和9年には結核予防のために剰余金の一部をもって保生会を創立し、保生会館及び保生園等の治療施設を設立致しましたが、今回の保健文化賞設定もまた同一趣旨に出るものであります。幸いに、大方の御賛同を賜ることを得ますれば、今後ともこの種事業には格別の意を用いたいと念願致している次第であります。

ここに、保健文化賞設定の趣意を開陳して御支援を懇請するとともに、弊社今回のささやかな意図が、一般保健思想及び施設の向上にいささかなりとも寄与することができますれば、望外のしあわせと存ずる次第であります。

昭和 25 年 1 月

第一生命保険相互会社

取締役社長 矢 野 一 郎

保健文化賞受賞者の業績

(敬称略) (直近5年間)

団体

個人

第 75 回

(2023年度 賞金総額2,300万円)

受賞者名	都道府県	業 績	賞金 (万円)
特定非営利活動法人蜘蛛の糸	秋 田 県	秋田県内の自殺予防活動を行う民間団体の中核として、対面や電話等による相談の受付活動に長年にわたり取り組んでおり、経済・生活問題等の悩みを抱える地域住民の自殺予防をはじめとした、心の健康づくりの推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 Commune with 助産師	福 島 県	福島県内の産科医療施設が減少する中で当該団体を設立して地域に根ざした助産師活動を展開し、東日本大震災発生時には即座に母子やその家族のために助産所を開放し、相談用電話を設置する等、妊産婦や乳幼児とその家族への支援に取り組み、地域に貢献している。	200
湯沢町ファミリー健康プラン推進委員会	新 潟 県	健康づくり計画の策定・実践に「町民主体・町民参加型」として取り組み、20年にわたり住民主体の体制を継続することで、未成年飲酒・喫煙対策に成果を上げるなど、地域の健康づくりに貢献している。	200
社会福祉法人弘和会	石 川 県	介護・障害者サービスの事業所機能を横断活用し、総合ケアをプロデュースすることにより、過疎化・超少子高齢化地域における独居老人・孤食問題の解消や、最期の看取りまで地域で生活できる街づくりに貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会	愛 知 県	長年にわたり、愛知県や市町村が実施する骨髄バンクドナー登録会における来場者へのドナー登録の呼びかけや普及啓発活動、血液疾患患者やその家族の支援活動、行政職員を対象とした研修への講師派遣等を精力的に行い、骨髄バンク事業に貢献している。	200
食アレスマイルネット	愛 知 県	食物アレルギー患者の苦しみや思いを絵本に託して作り上げ、それらを持って日本小児臨床アレルギー学会への訪問や、47都道府県等への絵本贈呈企画、読み聞かせ企画等で全国を回り、16年にわたり、患者の心を支えることに貢献している。	200
NPO法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク	三 重 県	10年以上にわたり、さまざまな悩みや心配ごとを持つこどもたちに対し、相談員が電話を通して思いに寄り添うことで、三重県のこどもの心の支えとなるとともに、自己肯定感を高めることに貢献している。	200
一般社団法人 KISA2 隊	京 都 府	地域のプライマリケアの枠組みを用いて、新型コロナウイルス感染症で自宅療養中の患者への訪問診療を全国に先駆けて行い、その取組をモデルケースとして全国各地へ普及させることで、多職種連携及び在宅医療の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 鳥取県自閉症協会ペアレントメンター鳥取	鳥 取 県	研修を受けた先輩保護者が発達障害のあるこどもを育てた経験を活かし、共感性の高い相談活動を行うとともに、ユーザー目線で子育て情報の紹介をすることで、仲間や社会とのつながりを支え、子育てコミュニティに貢献している。	200
特定非営利活動法人 ステップバイステップ	熊 本 県	障害児と保護者が共に暮らし続けることができる地域を目指して障害児の移動支援事業や療育施設の設置・運営等の活動を続け、1つの自治体の枠に収まらず近隣市町の住民のニーズにも応え続けることで、障害児の居場所づくりや自宅から特別支援学校に通学できる体制整備に貢献している。	200
高 岡 晃 教	北 海 道	まもるんジャーやこども研究所に代表されるように独自のプログラムを創出し、こどもに幼児のうちから感染症や免疫の教育を行うことで、地域における保健衛生教育の推進に貢献している。	100
岡 本 和 美	奈 良 県	小児科医師、5人の子の母、教育委員長としての経験をもとに、25年余、児童虐待を広義に捉え、育児支援・思春期保健対策・女性の働き方・医師への教育等、広い範囲にわたり活動され児童虐待防止に貢献している。	100
花 田 敬 士	広 島 県	膀胱癌の危険因子に着目し、病診連携を生かして内視鏡を含む低侵襲の検査介入を行う膀胱癌早期診断プロジェクトを展開し、地域における膀胱癌の早期診断例の増加や5年生存率の改善等に貢献している。	100

※都道府県は受賞時点の団体所在地・個人居住地

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
埼玉骨髄バンク推進連絡会	埼玉県	1989年に結成され、現在の日本骨髄バンク設立に寄与し、以降は、埼玉県内のドナー登録会時の説明員の派遣や調整を担い、また医療相談会等のイベントを通じて、ドナー登録拡大に貢献している。	200
一般社団法人 OVAL HEART JAPAN	東京都	東日本大震災後に発症した生活不活発病の予防活動として、運動器症候群に配慮した歩行プログラムの普及に努めるとともに、同プログラムは介護予防にも適応できるため指導者を養成し、全国各地に活動の輪を広げる歩行運動の普及に貢献している。	200
認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	東京都	日本の医療の中に、シャイン・オン!キッズが心のケアの提供をプラスすることで、子ども達が入院中でも笑顔で過ごす事ができるようになるとともに、コロナ禍でも中断することのないケアの提供により、病気の子ども達に勇気と希望を与える活動を通じて、病気の子ども達のQOLの向上に貢献している。	200
公益社団法人 神奈川県助産師会 と かわ助産院	神奈川県	神奈川県で初めて助産師職能団体による会立助産院を設立し、地域の母子保健に携わる助産師のブラッシュアップや後輩育成に尽力するとともに、地域の医療機関とも密に連携を取り、産後ケアの質の向上などに貢献している。	200
咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会	長野県	発声機能を失った咽頭摘出者に対し、50年以上にわたり、代用音声による発声技法の習得を目指した発声訓練講習会を開催するとともに、同講習会は咽頭摘出者にとって、発声訓練が慰問と激励の場ともなっており、咽頭摘出者の福祉の向上に貢献している。	200
津具ロコモ予防体操教室	愛知県	住民主導による津具ロコモ予防体操教室は、高齢化が進展する山間地域において、十年にわたる活発な活動を継続し、住民達の知恵と努力、地域保健関係者の支援を結集させ、地域の高齢者の健康づくりや地域活動の活性化に貢献している。	200
ナーベルプラ座	愛知県	多様な構成員が、長年にわたり性の健康を幅広く伝える性教育に取り組むことによる、いのちと人権を守り育てる活動を通じて、学校等との連携を重視した包括的性教育の発展に貢献している。	200
公益社団法人大阪府看護協会	大阪府	大阪府看護協会は、全国に先駆けコロナに対応する看護職員の確保・研修、宿泊療養施設の運営等に取組み、本会がその活動を全国に伝えたことで、多くの県看護協会の取組みが一層強化され、必要な医療の確保に繋がる国民の生命・健康維持に貢献している。	200
HBG 重度・重複障害児 スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	広島県	身体及び知的にも最重度の障害を有し、医療的ケアを必要とする子供も対象とした、国内外でも例のないアダプテッド・スポーツ（障害等に応じたルール、用具、指導法等を独自に考案・工夫したスポーツ）教室を15年間、定期的に開催するとともに、障害者スポーツ指導者養成に貢献している。	200
障害学生パートナーシップ ネットワーク附属 熊本県発達障害当事者会 L i t t l e b i t	熊本県	障害に捉われず多様な行政・団体との連携を広げ、協働に発展させ、発達障害を含めた多様な人々が地域で活躍する場を増やし、一人ひとりの「できること」を引き出す「対話力」を備えた社会づくりに貢献している。	200
豊嶋崇徳	北海道	唾液中の新型コロナウイルスの存在に気づき、その後、産官民一体で極めて短期間のうちに唾液検査法を確立し、コロナ対策を大きく進歩させ、唾液検査の普及に貢献している。	100
今明秀	青森県	一人救急医として活動し、医師・看護師・消防・市民の教育を通じて、稀有な救急医療体制を作りあげるとともに、移動緊急手術室の開発を通じて、絶望的だったへき地の心肺停止症例を社会復帰に導き、また外傷診療体制の質の向上に貢献している。	100
五十嵐千代	埼玉県	わが国の産業保健分野の保健師等の産業保健看護職の育成を通じて、産業保健及び産業看護を発展させ、東京を拠点に働く人の自殺対策を含むメンタルヘルス対策や地域の人への健康支援に貢献している。	100
松平浩	東京都	従来の間工学的対策だけでなく、心理社会的要因への対策の必要性について先駆的かつ一貫した研究を実施し、労働災害が増加傾向にある第三次産業での腰痛をはじめとする筋骨格系疾患の予防・改善に貢献している。	100
下浦佳之	兵庫県	国内で頻繁に発生する災害に対し、栄養と食事に関する被災地支援のスキームと体制の構築及び平時における防災体制の総合的な整備活動によって、誰一人取り残さない災害支援システムの構築に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
特定非営利活動法人 3 k e y s	東京都	虐待・育児放棄・貧困等で頼れる大人のいない子どもたちの支えとして、児童養護施設等での学習支援に始まり、孤立した子どもたち向けの相談事業や啓発事業を展開し、子どもたちの精神面を含めた課題解決に貢献している。	200
特定非営利活動法人 F i n e	東京都	不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊に関わるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している。	200
特定非営利活動法人 適な排尿をめざす 全国ネットの 全会	京都府	排尿問題に悩む一人でも多くの方を救うため、多職種と連携し、地域医療のみならず全国の患者のための適切な医療の提供とともに、身近な排尿問題を年齢で諦めることのないよう、啓発活動に尽力し、QOLの向上に貢献している。	200
大阪府立大学大学院 看護学研究科 セクシュアリティ プロジェクト 教育ト	大阪府	保健医療・教育・福祉の専門家による多職種連携体制を構築し、長年にわたり43万人の高校生を対象に、出張性教育授業、講演、性教育の教材開発などを行い、思春期の子どもたちの心身の健康支援・福祉に貢献している。	200
(認定)特定非営利活動法人 プール・ボランティア	大阪府	障がい者が、障がいの程度に係わらずプールを楽しめるよう、長年にわたり工夫を重ね活動を継続し、専門家のみならず、一般ボランティアを多く受け入れ、市民プールで健常者と共に泳ぐことで、地域での理解の推進に貢献している。	200
特定非営利活動法人 アイヘルコー	香川県	主に重度の障がい者を有する人に対して安心して過ごせる日中活動の場を提供するとともに、地域の福祉拠点として様々な活動を通し、助け合いながら明るい協働社会を創っていくことや未来を背負う子どもたちの健全な育成活動への参加の機会を提供に貢献している。	200
一般社団法人 長崎県薬剤師会	長崎県	医療資源が乏しい五島列島において、住民の医薬品の使用実態調査で判明した「薬剤師が存在しない」二次離島の現状に対して、定期的な「お薬説明・相談会」を実施し、住民の医薬品適正使用や健康増進の向上に貢献している。	200
一般社団法人 別府市医師会	大分県	ゆけむり医療ネットは地域医療・保健・福祉を連携する医療連携ネットワークで高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となり疾病管理による重症化予防、重複した検査や処方防止等、地域医療の効率化に貢献している。	200
特定非営利活動法人 メッシュ・サポーター	沖縄県	島々で抱える医療過疎や医師の過重労働に関する問題解決のため、医療用航空機（ヘリコプター・飛行機）による患者搬送・医師派遣を通して、離島医療の問題改善に貢献している。	200
須藤英毅	北海道	側弯症学校検診の確実な実施に向けた啓蒙活動と側弯症を早期に発見し支援に繋げていく環境整備を幅広く実施することで、重症化を予防する先制医療等による小児保健衛生の向上に貢献している。	100
金子鮎子	東京都	長期に働くことが困難とされている精神障がい者を長年にわたり働く人として育成・雇用し、そのノウハウを発信して、雇用施策を促し、障がい者の働く権利の拡大を通して、就業による共生社会の実現に貢献している。	100
石渡千代	神奈川県	地域の管理栄養士・国際薬膳師として活動し、食を通して人を幸せにするための活動を対象者の視点に立って、楽しんで取り組めるように工夫し、県民市民の健康増進活動の推進に貢献している。	100
市川恵子	神奈川県	母子保健に携わる事業に長きに尽力し、助産院・訪問看護ステーションを開設し母子への健康を守り、横浜市助産師会の会長・神奈川県助産師会副会長を歴任し、地域及び後輩の育成に貢献している。	100
比嘉政昭	沖縄県	BCG接種の集団接種方式から個別化への移行にあたり市町村や医師会に対して研修や評価を行い、地域婦人会の活動を援助して結核予防の普及啓発に貢献している。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
社会福祉法人 グリーンローズ	秋 田 県	乳幼児期のことばの発達に支援を要する子どもとその家族への相談・支援事業、並びに障害のある子ども達も共に保育・教育を受けられる環境づくりに貢献している。	200
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ I N T O K Y O	東 京 都	多数の医療者や企業から協力を得て重症児や希少難病児の支援に特化している唯一性の高い団体であり、経済的基盤も不安定な若い家族を支援し、彼らの QOL を高めて社会的孤立を阻止することに貢献している。	200
特定非営利活動法人 モンキーマジック	東 京 都	クライミングというスポーツを障害者が楽しめる環境を創るのみにとどまらず、健常者も一緒に参加し楽しめる環境を広げることに貢献している。	200
静岡県在宅保健師の会 「つつ 会」	静 岡 県	長年に亘り、豊富な経験と知見を活かして、住民と対話し、地域を観察する家庭訪問は、市町と住民を繋ぐ架け橋となっており、静岡県の健康寿命の延伸に貢献している。	200
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会	大 阪 府	無料低額診療事業の目的に沿って、独自に「生活困窮者支援事業」(なでしこプラン)を創設し、同会の複数病院が協力して、生活困窮者が多く居住する地域への「出かける検診事業」を実施し、疾病予防と健康の増進に貢献した。	200
特定非営利活動法人 認知症の人とみんなの サポートセンター	大 阪 府	若年性認知症の方への支援団体は、全国的にもほとんどない中、先駆的に取り組みを行い、特に、診断前や診断後初期に利用できる社会資源が少ない中、週4回活動できる取組みを行い、若年性認知症の居場所作りに貢献している。	200
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク	兵 庫 県	役員をはじめ運営委員会等の委員は無償協力であり、臍帯血を病院から搬送するスタッフなど、多くのボランティアや県民、ライオンズクラブ等からの協力を得て運営されており、全国の着実な臍帯血の提供に貢献している。	200
健康で安心して住める 花栗振興会	島 根 県	行政に頼らず住民が自主的に健康で安心して暮らせる地域づくりを計画・実践しており、高齢化率は高水準だが、地域の活動への参加率も高く、他地区の模範と成り得る団体であり、地域版の健康づくり活動計画の策定に貢献している。	200
特定非営利活動法人 みよしサポート協会びあぞら	徳 島 県	社会的課題であるひきこもり対策において、対象者別の仕組みでは対応できないような複合的なニーズに、ピアサポートの力を活用し柔軟に対応し、関係機関と連携のもと、切れ目のない支援に貢献している。	200
高知県骨髄バンク推進協議会	高 知 県	日本骨髄バンクが設立された翌年の1992年から活動を開始し、ドナーを募る登録会を長年にわたって実施しており、高知県民に向けた骨髄バンクの普及啓発に貢献している。	200
増 田 靖 子	北 海 道	現実のニーズをしっかりと把握した上で、草の根レベルの地道な活動を継続し、同病の患者・家族の閉じたサークルではなく、難病患者が広く連携・連帯し、お互いの問題を解決して行く枠組み作りに貢献している。	100
田 中 志 子	群 馬 県	病棟では、身体拘束ゼロ医療・ケア、地域では、認知症の人の見守りネットワークや買い物支援など、認知症の人の尊厳を守り、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりに貢献している。	100
大 淵 修 一	埼 玉 県	介護予防の必要性を早期から訴え、介護予防に関する研究・介護予防システムの構築に尽力し、介護分野で理学療法士が活躍する契機を作り、また予防を中心とした地域づくりに貢献した。	100
秋 山 正 子	東 京 都	訪問看護・在宅ケア、暮らしの保健室、マギーズ東京など、27年間に渡り無私の精神で患者・家族を支え続け、地域密着の経験知を講演・執筆等で広く伝え、全国の実践向上に貢献している。	100
池 川 志 郎	東 京 都	骨・関節系統の難病、遺伝病、生活習慣病に関する専門医かつ基礎研究者として、疾患の原因解明、適切な医療の普及、患者支援体制の整備、人材育成、関係コミュニティの連携支援を通じて、広く患者の福祉に貢献した。	100

受賞者名	都道府県	業績	賞金(万円)
一般社団法人 仙台市薬剤師会	宮城県	薬と健康に関する啓発を長年実施したほか、薬局によるハートヘルスプラザ事業を展開し、市民の健康増進や認知症・うつ病の早期対応等、幅広い分野で健康づくりに取り組み、市民の健康寿命の延伸に貢献している。	200
福島県食生活改善 推進連絡協議会	福島県	地域の健康課題や社会情勢に応じた食生活改善の活動を通じて、乳児から高齢者まで幅広い世代を対象とした食育を推進し、県民の健康的な食生活に対する意識や健康水準の向上に貢献している。	200
NPO アレルギー児を支える 全国ネット「アラジーポット」	東京都	医療現場のみならず社会一般にアレルギー疾患に対する正しい知識を普及させることを目的に活動を続け、患者と医療関係者などが対等のパートナーとしてアレルギー疾患治療の現状を改善していく道筋を切り拓くことに貢献している。	200
特定非営利活動法人 T A B L E F O R T W O International	東京都	先進国の人々と、開発途上国の子どもたちが食を分かち合うという仕組みを提唱し、開発途上国の栄養状態改善や教育機会整備、先進国では健康増進や肥満防止に貢献している。	200
いしかわ骨髄バンク推進・ は と の 会	石川県	平成2年の設立以来骨髄移植のドナー登録増進を図るため、職域での集団登録会や献血ルームでの受付・説明、啓発のための語り部講演会、映画・芝居の上演、マスコミへのPRなどをボランティアで続け、骨髄移植の啓発に貢献している。	200
公益社団法人 鳥取県看護協会	鳥取県	職能団体としてその専門性を活かし、学校に向向いてのいのちの教育や、思春期相談等を行政や関係機関と連携し、15年間に亘り継続して行い、全国ワースト1位であった10代の人工妊娠中絶率の低下に大きく貢献している。	200
益田の医療を守る 市民の会	島根県	市民・医療機関・市議会・行政が一体となり、市民が安心して医療を受け暮らせるように益田市の医療を充実させていこうという気運を醸成し、多くの市民に医療や健康に関心をもたせることに貢献している。	200
特定非営利活動法人 癒し憩いネットワーク	福岡県	写真や動画を用いた“癒し・憩い”のコンテンツを制作し、美しい画像の数々を無償で送り、患者やそのご家族などの人生の質（Quality Of Life）の向上に貢献している。	200
NPO 法人熊本 DARC	熊本県	薬物など依存症対策に真摯に向き合い当事者家族に対し伴走型支援を実践し、熊本地震では最大被災地の益城町に入りアルコール依存等に悩み苦しむ本人や家族に寄り添い、こころのケアに貢献している。	200
一般社団法人 沖縄県助産師会	沖縄県	行政との連携により、有床助産所運営、沖縄県女性健康支援センター事業、思春期性教育、離島の巡回妊婦健診、若年妊産婦の居場所事業、産前産後ケア事業受託等、多岐にわたって地域の母子保健事業に貢献している。	200
向 山 秀 樹	神奈川県	地域に在住する外国人家族と地域住民の架け橋となり、自らの診療所の開放や、22カ国外国人問診表を作成し、全国に無料で配布した。また、重い病気を抱えた家族の海外移住には、日本と同等の治療ができるように努力するなど、海外での治療の道の開拓に貢献している。	100
植 松 潤 治	滋賀県	医師として障害児者医療への研究・治療を実践し、近年は在宅障害児者医療を積極的に推進した。さらには滋賀県障害児者と父母の会の活動を通して福祉環境整備に貢献している。	100
埜 田 和 史	滋賀県	過重な負担による手話通訳者の頸肩腕障害発症を発見し、長きに渡り相談・検診や追跡調査に邁進する傍ら、全国各地で講師活動を続け、手話通訳者の健康を守るルールを普及させ、手話通訳者の健康管理制度の構築に貢献している。	100
足 立 光 平	兵庫県	地域住民の健診・検査データ・パーソナルヘルスデータを一元化し、それらを個人同意の下、必要に応じ供覧することで、いつでもどこでも、良質な保健医療福祉サービスを受けられるシステムの構築・維持・発展に貢献している。	100
岡 本 新 悟	奈良県	バングラデシュの無医村に病院を設立した他、マンゴー園を建設し医療費を払えない患者の援助とした。また、身寄りのない寡婦の為にホームを建設し、生活の糧が得られる枠組を構築する等、バングラデシュの医療と福祉の充実に貢献した。	100

受賞者地域別一覧表

(敬称略)

団体



個人



〈北海道〉

団体25・個人15

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
北海道立衛生研究所	1954	社団法人北海道医師会	1990
井上善十郎	1954	社団法人札幌歯科医師会 口腔医療センター	1991
市立函館保健所	1958	社団法人北海道衛生団体連合会	1991
竹内武夫	1959	札幌市衛生研究所	1992
高橋房次	1960	熊本悦明	1999
北海道山部村衛生組合	1964	塚本隆三	2001
笠井義男	1964	社会福祉法人浦河べてるの家	2003
北海道美瑛町	1965	北海道八雲町	2003
北海道赤十字血液センター	1966	北海道砂原町	2004
北海道大樹町	1969	北海道立衛生研究所	2005
女満別衛生協会	1970	門屋充郎	2006
若松地区健康グループ	1977	千葉峻三	2007
北海道別海町	1978	小林博	2008
財団法人北海道対がん協会	1978	北海道食生活改善推進員団体連絡協議会	2010
石倉肇	1979	公益社団法人北海道家庭生活 総合カウンセリングセンター	2015
旭川精神衛生協会	1980	一般社団法人札幌市医師会	2016
北海道鷹栖町	1981	増田靖子	2020
北海道中標津町	1982	須藤英毅	2021
札幌市医師会夜間急病センター	1985	豊嶋崇徳	2022
荒川巖	1989	高岡晃教	2023

〈青森〉

団体6・個人7

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
鳴海康仲	1959	秋元とく	1963
青森県八戸市学校歯科医会	1961	花田ミキ	1973
小野定男	1962	青森県尾上町	1983

〈青森〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
青森県南郷村	1984	青森県食生活改善推進員会 青連絡協議	2002
佐々木直亮	1986	平田恵美子	2003
青森県佐井村	1995	今明秀	2022
青森県六戸町	1997		

〈岩手〉

団体12・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岩手県沢内村	1963	岩手県湯田町	1983
岩手県葛巻町	1966	岩手県遠野市	1993
岩手県矢巾町	1968	増田進	1995
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 岩手県済生会岩泉病院	1970	将基面誠	1996
岩手県江刺市	1974	岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	1997
岩手県地域医療研究会	1975	中村好和	2002
岩手県新里村	1979	橋本勢津	2005
岩手県浄法寺町	1982	岩手県岩手町	2006

〈宮城〉

団体20・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
宮城県丸森町	1952	登米地区地域医療対策委員会	1987
宮城県豊里町	1955	宮城県食生活改善推進員連絡協議会	1988
宮城県角田町	1956	東北六県防疫研究会	1992
古賀良彦	1958	社団法人宮城県看護協会	1993
近藤正二	1962	宮城県特定疾患・遷延性意識障害者会 治療研究協議	1996
財団法人宮城県対がん協会	1963	宮城県B型肝炎母子感染防止協議会	1996
宮城県衛生研究所	1966	社団法人仙台歯科医師会	1998
宮城県更生育成医療整形外科指定医協議会	1970	宮城県心筋梗塞対策協議会	1999
宮城県宮黒保健所	1972	社団法人仙台市医師会	2000
海老名敏明	1978	沼崎義夫	2002
宮城県地域医療対策協議会	1980	宮城県神経難病医療連絡協議会	2007

〈宮城〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
伊藤 祝子	2011	一般社団法人震災こころのケア・ネットワーク みやぎ	2015
渡辺 彰	2013	一般社団法人仙台市薬剤師会	2019

〈秋田〉

団体10・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
秋田県西目村	1964	秋田県河辺町	1993
財団法人結核予防会 秋田県支部結核予防婦人会県連合会	1968	秋田県神岡町	1995
黒丸 五郎	1970	林 雅人	2000
秋田県井川村	1972	秋田県東成瀬村	2014
秋田県大雄村	1976	社会福祉法人グリーンローズ	2020
秋田県上郷健康センター	1980	特定非営利活動法人蜘蛛の糸	2023
児島 三郎	1987		

〈山形〉

団体7・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
山形県寒河江保健所	1957	山形県衛生研究所	1991
志田 周子	1959	社団法人山形県食品衛生協会	1993
宇留野 勝弥	1960	山形県食生活改善推進協議会	1994
寒河江市西村山郡医師会	1979	山形県最上町	1996
山形県高島町衛生組合連合会	1983	眞田 知彰	1998

〈福島〉

団体14・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
郡山保健所	1955	福島県安達町	1970
常磐炭礦株式会社磐城礦業所	1956	岩 永 幾太郎	1972
太田 辰雄	1961	福島県二本松保健所	1974
福島県保原保健所	1962	福島県大越町保健会連合会	1975
福島県平保健所	1966	福島県原町保健所	1980
福島県地区衛生組織連合会	1969	福島県浅川町保健協力員会	1984

〈福島〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人福島県食品衛生協会	1985	福島県総合療育センター歯科協力会	2015
今 泉 亀 撤	2007	福島県食生活改善推進連絡協議会	2019
相 澤 與 一	2009	特定非営利活動法人 Commune with 助産師	2023
吉 田 圭 治	2012		

〈茨城〉

団体16・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
茨 城 県 七 郷 村	1951	社団法人茨城県栄養士会	1998
加 納 保 之	1956	茨城県食生活改善推進団体連絡協議会	2000
木 村 猛 明	1960	社団法人茨城県食品衛生協会	2001
潮 田 き よ	1964	平 間 敬 文	2005
茨 城 県 緒 川 村	1968	社団法人水戸市医師会	2006
茨 城 県 古 河 市	1969	野田学区コミュニティ「さわやかな野田をつくる会」	2009
茨 城 県 茨 城 町	1982	茨 城 県 産 婦 人 科 医 会	2012
社団法人茨城県歯科医師会	1985	特 定 非 営 利 活 動 法 人 ウ ィ メ ン ズ ネ ッ ト「ら い ず」	2014
茨 城 県 協 和 町	1986	社会福祉法人茨城いのちの電話	2015
茨 城 県 岩 瀬 町	1988	公益財団法人いばらき腎臓財団	2017

〈栃木〉

団体8・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
栃 木 県 宇 都 宮 市	1958	社団法人栃木県歯科医師会	1977
栃 木 県 足 利 市	1963	栃 木 県 石 橋 町	1984
栃 木 県 鹿 沼 市	1967	遠 藤 昌 一	2000
社団法人栃木県食品衛生協会	1969	社会福祉法人栃木いのちの電話	2001
福 山 博	1971	と ち ぎ 思 春 期 研 究 会	2013

〈群馬〉

団体11・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
群 馬 県 宮 城 村	1960	柴 田 正 名	1961

〈群馬〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
群馬県利根沼田新生会	1963	社団法人前橋市医師会	1997
社団法人群馬県医師会	1968	群馬郡医師会	2002
桐生市衛生組合連合会	1971	社団法人群馬県助産師会	2009
沢井芳男	1974	鈴木基司	2009
群馬県上野村	1979	池田優子	2012
社団法人群馬県歯科医師会	1989	北村邦夫	2014
小林茂信	1990	小笠原一夫	2017
高崎市学校保健会	1994	田中志子	2020
群馬県食生活改善推進員連絡協議会	1996		

〈埼玉〉

団体16・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
埼玉県東吾野村	1953	丸林葉子	2000
所沢保健所	1956	社団法人埼玉県断酒新生会	2001
高石幸三郎	1957	埼玉県糖尿病協会	2002
田島基	1965	埼玉県医師会がん集団検診医会	2003
横関五郎	1967	埼玉県小鹿野町	2004
川越市芳野地区母子愛育班	1969	大谷貴子	2008
小宮義孝	1971	特定非営利活動法人会 埼玉子どもを虐待から守る会	2009
社団法人埼玉県筋ジストロフィー協会	1978	一般財団法人東厚生会	2014
羽生市千代田地区健康文化委員会	1979	飯嶋幸久	2014
埼玉県戸田市立健康管理センター	1986	北里第一三共ワクチン株式会社	2018
社団法人やどかりの里	1988	大淵修一	2020
埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会	1992	埼玉骨髓バンク推進連絡会	2022
宮崎和	1999	五十嵐千代	2022

〈千葉〉

団体8・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
千葉県中川村	1953	花岡和夫	1955

〈千葉〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人安房医師会	1986	特定非営利活動法人ホームレス自立支援会 市川ガンバの	2009
社団法人千葉県医師会	1994	工藤翔二	2011
高臣武史	1994	一般社団法人市川市医師会	2012
寺田一郎	2001	特定非営利活動法人 スマイルクラブ	2012
浅井邦彦	2005	千葉県食生活改善協議会	2013
社団法人千葉県歯科医師会	2006	丸山博	2014

〈東京〉

団体100・個人114

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
結核予防会及び日本学術振興会 学術部第八小委員会	1949	株式会社保健同人社	1956
寺尾殿治	1949	社団法人日本水道協会	1956
三田村篤志郎	1949	栗山重信	1956
財団法人日本ペニシリン協会及び 財団法人日本ペニシリン学術協議会	1950	渡部求	1956
林芳信	1950	西原脩三	1956
岡隈部治英 道雄	1950	日本栄養化学株式会社	1957
恩賜財団母子愛育会	1951	平野ミドリ	1957
杉並保健所	1951	パラチオン中毒治療研究班	1958
尼子富士郎	1951	東京都監察医務院	1958
平井雅恵	1952	田沢鎌二	1958
高木憲次	1952	河村郁	1958
千葉保之	1952	竹内剛	1958
三上チヨ	1953	小島三郎	1958
酒井谷平	1953	小山武夫	1958
三宅鉦一	1953	東京都立衛生研究所	1959
佐伯矩	1954	遠藤繁清	1959
株式会社日映科学映画製作所	1955	大森憲太	1959
七島熱調査研究委員会	1955	三共株式会社高峰研究所	1960
奥野徹	1955	千葉たつ	1960
久慈直太郎	1955	草間偉	1960

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
暉 峻 義 等	1960	田 中 シ ン	1968
永 井 亨	1960	児 玉 威	1968
山 田 忠 治	1960	矢 嶋 良 一	1968
東 京 都 市 場 衛 生 検 査 所	1961	渡 邊 モ ト エ	1969
ら い 研 究 協 議 会	1961	近 藤 六 郎	1969
社 会 福 祉 法 人 白 十 字 会	1961	増 淵 一 正	1969
郡 山 ア ヤ	1961	春 日 忠 善	1969
亀 谷 了	1961	丹 下 坂 宇 良	1970
関 根 真 一	1961	川 崎 幸 槌	1971
田 村 剛	1962	小 池 文 英	1971
小 川 辰 次	1962	小 林 提 樹	1971
内 山 圭 梧	1962	中 村 文 彌	1971
吉 田 ま す み	1963	岡 西 順 二 郎	1972
近 藤 宏 二	1963	浅 川 婦 人 会	1973
金 子 準 二	1963	社 団 法 人 大 気 汚 染 研 究 全 国 協 議 会	1973
広 瀬 孝 六 郎	1963	佐 藤 彦 次 郎	1975
鯉 沼 茆 吾	1964	野 村 實	1975
野 辺 地 慶 三	1964	稗 田 正 虎	1975
木 下 正 一	1965	鈴 木 平 三 郎	1976
小 野 基 樹	1965	酒 井 好 道	1977
森 山 豊	1966	国 井 長 次 郎	1978
上 田 揆 一	1966	辺 野 喜 正 夫	1978
斎 藤 潔	1966	財 団 法 人 全 国 精 神 障 害 者 家 族 連 合 会	1980
笠 原 四 郎	1966	難 波 政 士	1980
東 京 都 食 肉 衛 生 検 査 所	1967	財 団 法 人 脳 性 マ ヒ 児 を 守 る 会	1981
内 藤 寿 七 郎	1967	社 団 法 人 渋 谷 区 医 師 会 附 属 予 防 接 種 セ ン タ ー	1981
小 島 嘉 男	1967	佐 藤 智	1981
岩 崎 龍 郎	1967	五 味 二 郎	1981
東 京 都 渋 谷 保 健 所	1968	吉 岡 武 雄	1982

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岩 戸 武 雄	1983	社 団 法 人 調 布 市 医 師 会	1993
増 田 陸 郎	1983	社会福祉法人全日本精神薄弱者育成会	1993
武 藤 静 子	1983	日 本 心 臓 ペ ー ス メ ー カ ー 友 の 会	1993
社 団 法 人 日 本 て ん か ん 協 会	1984	特 殊 ミ ル ク 共 同 安 全 開 発 委 員 会	1993
島 尾 忠 男	1984	成 田 稔	1993
測 上 在 彌	1984	アルコール依存症リハビリテーションセンター 『みのわマツク』	1994
社 団 法 人 全 日 本 断 酒 連 盟	1985	青 木 正 和	1994
財 団 法 人 母 子 衛 生 研 究 会	1985	西 岡 久 壽 彌	1994
大 西 基 四 夫	1985	社 団 法 人 日 本 医 療 福 祉 建 築 協 会	1995
財 団 法 人 東 京 都 が ん 検 診 セ ン タ ー	1986	財 団 法 人 日 本 環 境 整 備 教 育 セ ン タ ー	1995
社 会 福 祉 法 人 い の ち の 電 話	1986	坂 元 正 一	1995
橋 本 正 己	1986	財 団 法 人 日 本 食 生 活 協 会	1996
藤 永 敷 江	1986	シ ョ ア = 国 際 保 健 協 力 市 民 の 会	1997
社 団 法 人 日 本 キ リ ス ト 教 海 外 医 療 協 力 会	1987	日 本 コ ン チ ネ ン ス 協 会	1997
東 義 国	1987	大 倉 興 司	1997
あ け ほ の 会	1988	河 合 忠	1997
円 城 寺 進	1988	平 山 宗 宏	1997
川 崎 富 作	1988	社 会 福 祉 法 人 全 国 盲 ろ う 者 協 会	1998
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会	1989	社 団 法 人 日 本 筋 ジ ス ト ロ フ ィ ー 協 会	1998
平 山 雄	1989	社 団 法 人 日 本 糖 尿 病 協 会	1998
社 団 法 人 銀 鈴 会	1990	生 活 の 発 見 会	1998
財 団 法 人 日 本 国 際 医 療 団	1990	東 京 都 精 神 障 害 者 家 族 会 連 合 会	1998
社 団 法 人 日 本 リ ウ マ チ 友 の 会	1990	吉 住 五 郎	1998
社 会 福 祉 法 人 と き わ 会	1991	A M D A 国 際 医 療 情 報 セ ン タ ー	1999
稀少難病者全国連合会(あせび会)	1991	社 団 法 人 日 本 オ ス ト ミ ー 協 会	1999
財 団 法 人 ビ ル 管 理 教 育 セ ン タ ー	1992	財 団 法 人 日 本 眼 球 銀 行 協 会	1999
財 団 法 人 国 民 栄 養 協 会	1992	財 団 法 人 日 本 産 業 廃 棄 物 処 理 振 興 セ ン タ ー	1999
財 団 法 人 日 本 寄 生 虫 予 防 会	1992	川 村 緑	1999
東 京 英 語 い の ち の 電 話	1992	財 団 法 人 厚 生 統 計 協 会	2000

〈東京〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
財団法人国際医療技術交流財団	2000	齋藤友紀雄	2012
日本障害者協議会	2000	公益社団法人会 東京都薬剤師会	2013
特定非営利活動法人全国市町村保健活動協議会	2001	特定非営利活動法人え きぼうの法	2014
財団法人日本精神衛生会	2002	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ ハウス・チャリティーズ・ジャパン	2014
社団法人東京都歯科医師会	2002	公益社団法人日本助産師会	2015
社団法人日本食品衛生協会	2003	特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会	2015
山下武子	2003	福地義之助	2015
財団法人がんの子供を守る会	2004	小林典子	2016
佐々木正美	2004	樋野興夫	2016
特定非営利活動法人東京難病団体連絡協議会	2005	認定特定非営利活動法人ト ジャパニアンハー	2017
ホスピスケア研究会	2005	特定非営利活動法人 女性ネット S a y a - S a y a	2017
ツインマザーズクラブ	2006	公益社団法人会 全国結核予防婦人団体連絡協議	2017
鈴木健一	2006	佐藤加代子	2017
財団法人国際開発救援財団	2007	武藤芳照	2017
社団法人東京都看護協会(助産師職能委員会)	2007	認定特定非営利活動法人 アトピッ子地球の子ネットワーク	2018
石川信克	2007	特定非営利活動法人 途上国の精神保健を支える ネットワーク SUMH Supporters for Mental Health	2018
社団法人葛飾区歯科医師会	2008	認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	2018
全国心臓病の子どもを守る会	2008	N P O アレルギー児を支える 全国ネット「アラジーボット」	2019
特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク	2008	特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International	2019
日本組織移植学会 東日本組織移植 ネットワーク 西日本組織移植ネットワーク	2008	公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO	2020
高野健人	2008	特定非営利活動法人 モンキーマジック	2020
徳永瑞子	2008	秋山正子	2020
森亨	2009	池川志郎	2020
特定非営利活動法人 フレンズ・ ウィズアウト・ア・ボーダー J A P A N	2010	特定非営利活動法人 3 k e y s	2021
坂本元子	2010	特定非営利活動法人 F i n e	2021
公益財団法人 エイズ予防財団	2012	金子鮎子	2021
特定非営利活動法人会 骨形成不全症協会	2012	一般社団法人 O V A L H E A R T J A P A N	2022
社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター	2012	認定特定非営利活動法人ズ シャイン・オン・キッ	2022
公益財団法人 日本リウマチ財団	2012	松平浩	2022

〈神奈川〉

団体35・個人20

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
神奈川県衛生研究所	1952	横浜市衛生研究所	1985
神奈川県高部屋村	1954	社団法人神奈川県精神病院協会	1989
神奈川県小田原市	1956	横浜市健康週間実行委員会	1989
安住 武 八	1956	松 本 清 一	1989
田 辺 一 雄	1957	財団法人神奈川県予防医学協会	1990
米 元 晋 一	1957	神奈川県立精神保健センター	1991
篠 田 淳 三	1958	川崎市リハビリテーション医療センター	1992
堀 江 勝 巳	1961	岡 上 和 雄	1993
川崎市高津保健所	1962	社団法人神奈川県医師会	1994
神奈川県小田原保健所	1963	神奈川県精神障害者家族会連合会	1995
榊 原 勇 吉	1963	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	1996
村 山 午 朔	1964	社団法人横浜市歯科医師会	1996
湯 楨 ま す	1966	神奈川県精神保健ボランティア連絡協議会	1998
川崎市中央保健所	1967	社団法人横浜市医師会	1998
川崎市中原保健所	1969	横浜市食生活等改善推進員協議会	1998
刈 米 達 夫	1970	藤 城 崑 美	1998
神奈川県食生活改善グループ連絡協議会	1971	財団法人神奈川県児童医療福祉財団 小児療育相談センター	2000
社団法人神奈川県歯科医師会	1973	行 天 良 雄	2003
横浜市磯子区医師会	1974	ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト	2008
神奈川県乳質改善事業協会	1974	川崎病の子供をもつ親の会	2010
須 川 豊	1975	特定非営利活動法人多言語社会リソース かながわ(M I C かながわ)	2015
山 下 章	1975	特定非営利活動法人 アレルギーを考える母の会	2017
横浜市鶴見区保健計画会議会 横浜市鶴見区自治連合会	1976	宮 下 美 代 子	2017
斎 藤 一	1977	向 山 秀 樹	2019
社団法人横浜市西区医療センター	1981	石 渡 千 代	2021
社団法人川崎市医師会	1981	市 川 恵 子	2021
神奈川県精神衛生協会	1982	公益社団法人神奈川県助産師会立院 と わ 助 産	2022
神奈川県公衆衛生協会	1983		

〈新潟〉

団体22・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
新潟県佐々木村	1952	新潟県京ヶ瀬村	1987
新潟県衛生研究所	1953	新潟県食生活改善推進委員協議会	1989
新潟県新潟市	1955	社団法人新潟県栄養士会	1995
荻野久作	1955	新潟県藤楓協会	1996
上越肺ジストマ対策委員会	1957	堺 薫	1996
新潟県津川保健所	1961	石田良平	1997
清水亨策	1961	川室優	1998
新潟県亀田町公衆衛生協会	1963	財団法人新潟県成人病予防協会	1999
新潟県巻保健所	1965	新潟県守門村	2000
新潟県食品衛生協会	1967	新潟県紫雲寺町	2002
新潟県住みよい郷土建設協会	1972	服部 晃	2004
篠川 至	1975	新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座予防歯科学分野	2007
社団法人新潟県歯科医師会	1981	日本歯科大学新潟病院 在宅歯科往診ケアチーム	2011
渡辺 宏	1982	新潟県西蒲原郡弥彦村	2012
社団法人新潟県医師会	1986	湯沢町ファミリー健康プラン推進委員会	2023

〈富山〉

団体7・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
飛見 丈 繁	1952	富山県朝日町	1979
斎藤 俊彦	1953	富山県食品衛生協会	1980
越山 健二	1972	富山県歯科医師会	1982
富山県入善町	1974	富山県食生活改善推進連絡協議会	1984
富山県福光町	1975	富山県魚津市	1990

〈石川〉

団体10・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
石川 県	1949	石川県金沢市	1957
泉 仙助	1954	中川 幸庵	1959
戸田 正二	1955	石川県松任保健所	1967

〈石川〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
北陸小児糖尿病サマーキャンプ運営委員会	1986	特定非営利活動法人 いのちにやさしいまちづくりほほぼねっと	2015
社団法人金沢こころの電話	1991	いしかわ骨髄バンク推進・はとの会	2019
石川県食生活改善推進協議会	1999	社会福祉法人弘和会	2023
石川県歯科医師会 口腔衛生センター	2011		

〈福井〉

団体8・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
福井県上中町	1959	福井県南条町	1977
福井県福井市	1961	福井県食生活改善推進員連絡協議会	1997
福井県鯖江保健所	1964	地域精神保健福祉業務連絡会	2006
福井県今庄町保健衛生協議会	1967	西川京子	2010
福井県武生市	1970		

〈山梨〉

団体8・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
山梨県源村母子愛育会	1950	小宮山幸子	1980
杉浦三郎	1951	社団法人山梨県看護協会	1991
小野徹	1952	山梨県愛育連合会	1996
綱脇龍妙	1953	山梨県食生活改善推進員連絡協議会	2005
武藤昌知	1965	IFMSA-Japan (国際医学生連盟・日本)	2007
山梨県小笠原保健所地区厚生連合会	1973	公益社団法人 認知症の人と家族の会 山梨県支部(あした葉の会)	2011
白根町母子愛育会連合会	1977		

〈長野〉

団体22・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
長野県芋井村環境衛生運営委員会	1953	更埴市八幡衛生推進会	1960
長野県諏訪市	1955	正木俊二	1960
長野県阿智村	1957	結核予防婦人会長野県連合会	1962
長野県飯田市	1959	長野県須坂市	1969

〈長野〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
若月俊一	1970	長野県口腔衛生協会	1994
長野県佐久市	1976	りんどう会	1997
社団法人長野県歯科医師会	1981	社団法人佐久歯科医師会	2001
社団法人長野県食品衛生協会	1982	松島松翠	2002
長野県朝日村健康村建設活動推進協議会	1985	社団法人松本市歯科医師会	2003
長野県上郷町	1987	長野県茅野市	2005
社団法人長野県栄養士会	1987	飯伊地区包括医療協議会	2008
長野県大桑村	1989	夏川周介	2010
長野県食生活改善推進協議会	1990	咽頭摘出者福祉団体 長野県信鈴会	2022

〈岐阜〉

団体14・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岐阜県岐阜市	1953	岐阜県川島町	1977
松尾国松	1953	平田町食生活改善協議会	1981
岐阜県東白川村	1965	岐阜県高鷲村	1986
岐阜県和良村	1968	岐阜県国府町	1988
岐阜県白川町	1971	岐阜県山岡町	1994
岐阜県可児郡医療協議会	1972	岐阜県中津川市	1997
須田圭三	1973	岐阜県食生活改善推進員協議会	2009
岐阜県明方村婦人会	1974	岐阜県高山市	2016

〈静岡〉

団体15・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
佐野連	1951	静岡県三ヶ日保健所	1968
清水製薬株式会社	1954	鈴木眞一郎	1972
井深八重子	1955	静岡県藤枝市	1973
財団法人神山復生病院	1958	静岡県小笠町	1977
静岡県結核予防婦人会	1963	伊藤久次	1979
静岡市食品衛生協会	1964	社団法人静岡県食品衛生協会	1986

〈静岡〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社会福祉法人天竜厚生会	2004	浜松外国人医療援助会	2011
財団法人静岡県腎臓バンク	2007	静岡県健康づくり食生活推進協議会	2014
レシヤードカレッド	2009	米山武義	2014
静岡県小山町	2010	静岡県在宅保健師の会「つつじ会」	2020
小山ライオンズクラブ	2011		

〈愛知〉

団体23・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
愛知県立中村病院	1955	青木國雄	1997
愛知県幸田町	1956	愛知県衛生研究所	2002
浅賀ふさ	1957	財団法人愛知腎臓財団	2002
愛知県三好町	1962	半田市健康づくり連絡協議会	2004
愛知県中央健康相談所	1965	特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会	2006
深谷義雄	1966	特定非営利活動法人愛知視覚障害者援護促進協議会	2008
千田嘉八	1968	愛知県東浦町	2010
瀬木三雄	1974	A G U D A A - V - フィリピン	2010
愛知県常滑市	1977	夏目長門	2012
名古屋市衛生研究所	1978	特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク	2014
岡田博	1978	愛知県食生活改善推進員連絡協議会	2016
碧南市健康を守る会	1980	加藤昌志	2018
財団法人名古屋公衆医学研究所	1991	津具ロコモ予防体操教室	2022
財団法人アジア保健研修財団	1991	ナーベルプラ座	2022
社団法人愛知県歯科医師会	1995	認定特定非営利活動法人あいち骨髄バンクを支援する会	2023
岩塚徹	1995	食アレスマイルネット	2023
伊藤春夫	1996		

〈三重〉

団体8・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
中川市郎	1959	中村實	1977

〈三重〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人三重県歯科医師会	1980	三重県アルコール関連疾患研究会	2010
三重県志摩町	1983	特定非営利活動法人MCサポートセンターみっくみえ	2011
三重県栄養改善推進連絡協議会	1987	認定特定非営利活動法人三重いのちの電話協会	2018
社団法人三重断酒新生会	1990	NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク	2023

〈滋賀〉

団体5・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
滋賀県彦根市	1951	近江八幡市学校保健会	1996
滋賀県貴生川町	1952	藤田保	2016
松浦利次	1953	植松潤治	2019
滋賀県甲南町	1989	埜田和史	2019
滋賀県野洲町	1994		

〈京都〉

団体14・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
京都府質美村	1950	池田正之	1997
日本新薬株式会社	1951	社団法人呆け老人をかかえる家族の会	1999
小林晴治郎	1953	財団法人京都工場保健会	2000
京都府中上林村	1954	社団法人乙訓医師会	2009
豊田順爾	1957	上島弘嗣	2015
滝内政治郎	1962	公益社団法人日本国際民間協力会	2016
汚物処理対策全国協議会	1965	松林公蔵	2016
社団法人京都府歯科医師会	1983	特定非営利活動法人そらいろプロジェクト京都	2018
京都府弥栄町	1989	特定非営利活動法人快適な排尿をめざす全国ネットの会	2021
社団法人京都府栄養士会	1995	一般社団法人KISA2隊	2023

〈大阪〉

団体44・個人17

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
豊中保健所	1950	大阪府見山村	1952

〈大阪〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
吹田母子会	1954	大阪府立万代診療所	1987
大浜文子	1954	社団法人大阪府断酒会	1988
村竹 上本 信常 三松	1955	大阪府箕面市	1990
大阪市立衛生研究所	1956	深井孝之助	1990
大阪府池田保健所	1959	社団法人大阪食品衛生協会	1991
武田薬品工業株式会社研究所	1959	社団法人大阪府公衆衛生協力会	1992
保良せき	1959	野田起一郎	1992
社団法人大阪精神衛生協議会	1960	財団法人母子衛生研究会大阪府支部	1994
桜井忠三	1961	財団法人大阪がん予防検診センター	1995
吉田貞雄	1962	「子どもに無煙環境を」推進協議会	1996
熊谷謙三郎	1963	小町喜男	1999
社団法人大阪府医師会	1964	児童虐待防止協会	2001
藤原九十郎	1964	岡本常男	2002
社団法人大阪府衛生婦人奉仕会	1966	大阪市食生活改善推進員協議会	2004
大阪府八尾市	1967	柏木哲夫	2004
財団法人大阪成人病予防協会	1968	和泉市児童生徒健康管理研究会	2005
社団法人大阪府歯科医師会	1969	地域がん登録全国協議会	2005
大阪市城東保健所	1970	大阪府食生活改善連絡協議会	2006
大阪府池田市	1971	大國美智子	2008
大阪府千早赤阪村	1972	岡本榮一	2009
大阪府東成母子会	1974	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会老人施設部会	2010
大阪府太子町	1974	小倉剛	2012
大阪歯科大学救ライ奉仕団	1975	社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター	2013
大阪府立公衆衛生研究所	1976	一般社団法人大阪府医師会	2016
大阪府吹田保健所	1978	川村孝	2016
大阪府赤十字血液センター	1981	星合昊	2018
大阪公衆衛生協会	1982	社会福祉法人会 恩賜財団済生会支部 大阪府済生会	2020
門真市衛生婦人奉仕会	1984	特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター	2020

〈大阪〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
大阪府立大学大学院看護学研究所 セクシュアリティ教育プロジェクト	2021	公益社団法人大阪府看護協会	2022
(認定)特定非営利活動法人 プール・ボランティア	2021		

〈兵庫〉

団体15・個人17

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
清水源吉	1956	兵庫県五色町	1988
森下薫	1957	社団法人尼崎市医師会	1988
間島良二	1961	伊藤利根太郎	1988
兵庫県番町地区会 麻薬覚せい剤撲滅運動協議会	1962	社団法人兵庫県歯科医師会	1992
兵庫県柏原村	1964	荒尾素次	2003
堀道紀	1970	N P O 法人兵庫県断酒会	2004
兵庫県山南町	1971	森田ゆり	2005
西宮市環境衛生協議会	1972	青井立夫	2006
成田敬太郎	1974	塩見聡	2013
社団法人姫路市医師会	1976	佐用町南光歯科保健センター	2016
柏木大治	1977	一般社団法人兵庫県難病団体連絡協議会	2016
喜田村正次	1979	特定非営利活動法人インターナショナル	2018
兵庫県いづみ会	1982	新庄幸子	2018
中島さつき	1982	足立光平	2019
社団法人加古川市加古郡医師会	1985	特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク	2020
池脇政子	1986	下浦佳之	2022

〈奈良〉

団体3・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
奈良県生駒保健所	1976	柏木知臣	2004
社団法人奈良県歯科医師会	1987	坂谷光則	2013
社会福祉法人奈良「いのちの電話」協会	1994	岡本新悟	2019
藤本伊三郎	1998	岡本和美	2023

〈和歌山〉

団体7

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
和歌山県高野口保健所	1960	和歌山県御坊保健所事故予防研究会	2004
社団法人和歌山市医師会	1982	社会福祉法人太陽福祉会	2006
麦の郷	1995	和歌山県難病の子ども家族会	2017
社会福祉法人やおき福祉会	2003		

〈鳥取〉

団体17・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
米子保健所	1953	鳥取県大栄町	1978
鳥取県福部村	1959	鳥取県健康対策協議会	1983
鳥取県若桜町	1961	鳥取県食生活改善推進員連絡協議会	1985
鳥取県国府町	1962	鳥取県根雨保健所	1987
鳥取県中山町	1966	鳥取県日南町	1992
鳥取県会見町	1968	武田倬	2010
鳥取県岸本町	1971	西部在宅ケア研究会	2018
鳥取県溝口町	1972	公益社団法人鳥取県看護協会	2019
鳥取県大山町	1973	特定非営利活動法人鳥取県自閉症協会 ペアレントメンター鳥取	2023
樋口田鶴	1975		

〈島根〉

団体24

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
島根県西郷中学校少年協力会	1953	島根県多伎町	1980
島根県佐田村	1958	島根県横田町	1982
島根県加茂町	1960	島根県八束町	1985
島根県石見町	1964	島根県出雲保健所	1991
島根県斐川町	1965	社団法人島根県断酒新生会	1995
島根県三隅町	1967	社会福祉法人島根整肢学園 西部島根心身障害医療福祉センター	1997
島根県東出雲町	1973	島根県海士町役場	1999
島根県八雲村	1975	安来能義地域糖尿病管理協議会	2010
島根県宍道町	1977	健康ますだ市21推進協議会	2012

〈島根〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
出雲の精神保健と精神障害者の福祉を支援する会	2013	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」	2017
社会福祉法人島根いのちの電話	2014	益田の医療を守る市民の会	2019
島根県食生活改善推進協議会	2015	健康で安心して住める花栗振興会	2020

〈岡山〉

団体26・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
岡山県野谷村	1950	岡山県食品衛生協会	1979
岡山県小田町	1954	社会福祉法人岡山かなりや学園	1981
岡山県ともしえ落新合生町会	1955	岡山県西栗倉村	1982
田部 浩	1955	岡山県邑久町	1984
井上 謙	1956	岡山県総社市	1989
杉本 嘉三郎	1958	岡山精神保健推進委員会	1993
岡山大学医学部耳鼻科教室 ベター・ヒヤリング・クリニック	1960	アジア医師連絡協議会	1994
岡山県美星町	1961	上妻 昭典	1994
岡山県清音村	1962	社会福祉法人浦安荘	1997
岡山県愛育委員連合会	1964	岡山県川上町	1998
岡山県環境衛生協議会	1966	江草 安彦	2001
高島 重孝	1966	守谷 欣明	2001
岡山県山陽町	1969	山本 昌知	2004
瀬戸内海巡回診療船「済生丸」診療班	1972	社団法人岡山県医師会	2005
岡山県栄養改善協議会	1973	山本 泰久	2007
岡山県奈義町	1975	大森 文太郎	2011
岡山県真庭郡地域保健委員会	1976	社会福祉法人岡山いのちの電話協会	2014
社団法人岡山県新見医師会	1978	一般社団法人御津医師会	2017

〈広島〉

団体18・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
広島県	1954	広島県吉舎町	1959
財団法人広島原爆障害対策協議会	1957	藤井 實	1962

〈広島〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
社団法人広島県地区衛生組織連合会	1965	放射線被曝者医療国際協力推進協議会	1996
澤崎嘉衛	1971	社団法人広島県栄養士会	1997
広島県地域保健対策協議会	1977	社団法人広島県精神保健協会	2000
広島県因島市	1983	社団法人尾道市医師会	2007
広島県歯科衛生連絡協議会	1984	広島県安芸太田町	2007
広島県御調町	1985	大久野島毒ガス傷害研究会	2011
青木秀信	1986	伊藤千賀子	2015
社団法人安佐医師会	1991	HBG 重度・重複障害児スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	2022
広島県沼隈町	1995	花田敬士	2023
社団法人広島県医師会	1996		

〈山口〉

団体10・個人4

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
徳山保健所	1954	山口県徳山市	1985
山口県阿武町	1973	野瀬善勝	1987
山口県川上村	1978	山口県むつみ村	1991
社団法人山口県歯科医師会	1979	山口県食生活改善推進協議会	1993
荒川二六郎	1980	大西力	1998
山口県三隅町	1981	山口県宇部市	2008
山口県菊川町	1983	山根俊恵	2018

〈徳島〉

団体4・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
徳島県勝浦町	1966	馬原文彦	2011
社団法人徳島県食品衛生協会	1988	圓井美貴子	2014
社会福祉法人徳島県自殺予防協会	2009	特定非営利活動法人みよしサポートぴあぞら	2020

〈香川〉

団体5・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
琴平保健所	1949	野島泰治	1951

〈香川〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
香川県平井保健所管内保健委員会連合会	1958	山 本 文 子	2007
佐 藤 フ キ エ	1972	社 団 法 人 香 川 県 看 護 協 会 会 健 全 母 性 育 成 事 業 推 進 委 員 会	2009
香川県食生活改善推進連絡協議会	1995	特定非営利活動法人アイルコート	2021

〈愛媛〉

団体12・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
竹 内 一 郎	1951	社 団 法 人 愛 媛 県 歯 科 医 師 会	1986
愛 媛 県 広 見 町	1972	社 団 法 人 松 山 市 医 師 会	1989
愛媛県川内町母子衛生実践会	1975	愛 媛 県 産 婦 人 科 医 会	1993
愛 媛 県 吉 田 町	1979	愛 媛 県 立 衛 生 研 究 所	1996
愛 媛 県 伊 方 町	1980	愛 媛 県 精 神 保 健 福 祉 協 会	2013
愛媛県地域保健対策協議会	1984	南宇和障害者の社会参加を進める会	2016
愛媛県保健栄養推進連絡協議会	1986		

〈高知〉

団体8・個人8

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
高 知 県	1954	社 団 法 人 高 知 県 食 品 衛 生 協 会	1984
島 崎 孝 彦	1958	尾 木 文 之 介	1989
岩 崎 基	1963	疋 田 善 平	1995
下 司 孝 磨	1973	沖 義 郎	1996
和 井 兼 尾	1976	社 団 法 人 高 知 県 断 酒 新 生 会	1999
上 村 聖 恵	1978	高 知 県 食 生 活 改 善 推 進 協 議 会	2007
高 知 県 野 市 町	1979	高 知 県 精 神 保 健 福 祉 協 会	2010
高 知 県 梶 原 町	1981	高 知 県 骨 髄 バ ン ク 推 進 協 議 会	2020

〈福岡〉

団体16・個人10

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
福岡市警固小学校内科校医団	1956	檜 林 篤 三	1959
福岡県志摩村	1958	石 西 進	1960

〈福岡〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
遠城寺 宗徳	1969	医療法人財団恵愛会	2004
戸田 忠雄	1970	熊谷 孝三	2005
福岡県医師会視聴覚研究所	1976	福岡県久山町	2006
福岡県脳卒中予防協会	1978	中村 裕一	2007
福岡県久山町	1983	福田眼科病院離島診療チーム	2009
林 与吉郎	1985	社団法人宗像医師会 宗像医師会訪問看護ステーション	2011
福岡県衛生公害センター	1990	大牟田市介護サービス事業者協議会	2013
医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	1994	荒 卷 初子	2013
福岡市学校精神保健協議会	1997	矢 津 剛	2017
福岡市民糖尿病教室	2001	松 田 晋哉	2018
北九州市食生活改善推進員協議会	2003	特定非営利活動法人癒し憩いネットワーク	2019

〈佐賀〉

団体6・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
三菱鉱業株式会社古賀山礦業所	1957	佐賀県食生活改善推進協議会	1992
佐賀県諸富町	1970	社団法人佐賀県栄養士会	1993
山口 弘雄	1972	かわそえネットワーク	2009
社団法人佐賀県尚和会唐津胃研究所	1975	香 月 武	2011

〈長崎〉

団体15・個人3

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
長崎市中心保健所	1952	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会	2000
長崎県長浦村	1957	長崎県食生活改善推進連絡協議会	2001
財団法人長崎原子爆弾被爆者対策協議会	1965	社会福祉法人幸生会	2003
川 崎 菊一	1976	佐世保市運動普及推進協議会	2006
長崎県離島医療圏組合	1988	木 場 武	2006
社団法人長崎県食品衛生協会	1989	長崎県ATLウイルス母子感染防止 研究協力事業連絡協議会	2011
社団法人長崎市医師会	1995	認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット	2014
社団法人長崎県歯科医師会	1997	NPO法人食支援ネットワーク・長崎嚙下り ハビリテーション研究会	2016

〈長崎〉

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
近藤達郎	2017	一般社団法人長崎県薬剤師会	2021

〈熊本〉

団体21・個人6

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
エレナ・パラジ	1952	社団法人熊本県精神障害者福祉会連合会	1994
琵琶崎待労病院	1960	熊本市保健医療専門団体連合会	1998
栃原義人	1964	社団法人熊本県精神保健福祉協会	2001
熊本県富合村	1967	日本赤十字社熊本健康管理センター	2002
熊本大学医学部水俣病研究班	1970	有明地域保健医療福祉連携協議会	2004
熊本県松橋保健所	1971	渡辺賢治	2006
熊本県健康を守る婦人の会	1973	社団法人熊本県精神科病院協会	2007
志賀一親	1976	熊本県食生活改善推進員連絡協議会	2008
阿蘇町栄養改善実践協議会	1983	社会福祉法人玉医会	2008
熊丸茂	1991	熊本小児在宅ケア・人工呼吸療法研究会	2012
友田政和	1992	N P O 法人熊本 D A R C	2019
社団法人熊本県歯科医師会	1993	障害学生パートナーシップネットワーク付属 熊本県発達障害当事者会 Little bit	2022
財団法人熊本県学校保健会	1993	特定非営利活動法人ステップバイステップ	2023
熊本県蘇陽町	1994		

〈大分〉

団体8・個人2

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
高安慎一	1957	湯布院厚生年金病院	2005
社団法人大分県医師会	1979	一般社団法人大分県医師会	2013
社団法人大分市医師会	1987	柳澤繁孝	2015
大分県食生活改善推進協議会	1991	うすき石仏ねっと運営協議会	2018
大分県身体障害者体育協会	1999	一般社団法人別府市医師会	2021

〈宮崎〉

団体11・個人1

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
延岡市公衆衛生推進会	1959	宮崎県国富町	1987
宮崎県佐土原町	1965	宮崎県国民健康保険団体連合会	1993
申間市保健推進協議会	1974	山下ヤス子	2010
社会福祉法人宮日母子福祉事業団	1976	認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎	2015
宮崎県綾町	1977	特定非営利活動法人アジア砒素ネットワーク	2016
宮崎県高城町	1984	宮崎県食生活改善推進協議会	2017

〈鹿児島〉

団体8・個人5

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
永田良吉	1957	鹿児島赤十字病院	2003
鹿児島県結核予防婦人会連合会	1971	瀬戸山史郎	2005
社団法人鹿児島県歯科医師会	1988	社団法人鹿児島県栄養士会	2006
尾辻義人	1990	吉田修三	2013
社団法人鹿児島県医師会	1992	永井慎昌	2015
鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会	1998	公益社団法人鹿児島県助産師会	2018
社団法人肝属郡医師会	2001		

〈沖縄〉

団体10・個人11

受賞者名	受賞年度	受賞者名	受賞年度
屋嘉勇	1973	社団法人沖縄県栄養士会	2002
山田之朗	1978	社団法人沖縄県看護協会	2003
眞玉橋ノブ	1979	宜保好彦	2003
馬場省二	1981	沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター—沖縄歯科口腔外科学振興会—	2005
沖縄県結核サーベイランス実施研究会	1984	知念正雄	2008
犀川一夫	1986	沖縄県南城市	2011
照屋寛善	1987	沖縄周産期ネットワーク協議会	2013
社団法人沖縄県歯科医師会	1990	一般社団法人沖縄県助産師会	2019
社団法人沖縄県小児保健協会	1992	特定非営利活動法人メッシュ・サポート	2021
三村悟郎	1992	比嘉政昭	2021
城間祥行	2000		

受賞理由の変遷

表1 団体

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	17	結核対策	31	検診	33	健康教育	34	健康教育	40	地域保健・地域医療	20	地域保健・地域医療	29
環境改善	14	地区組織	26	母子保健	32	検診	31	地区組織	34	難病・障がい者保健	19	健康増進・疾病予防	14
母子保健	13	母子保健	26	結核対策	20	母子保健	27	老人保健	24	健康増進	18	難病・障がい者保健	11
寄生虫対策	12	環境改善	22	成人病対策	20	栄養改善	23	精神保健	23	精神保健	13	精神保健	11
地区組織	11	国保事業	14	地区組織	17	成人病対策	22	栄養改善	22	国際保健	9	母子保健	11
国保事業	9	上下水道	11	健康教育	15	地区組織	20	母子保健	18	歯科保健	7	高齢者保健・介護	5
保健所	9	栄養改善	11	栄養改善	15	歯科保健	19	医療従事者教育	17	母子保健	4	歯科保健	4
健康教育	7	成人病対策	10	環境改善	15	僻地医療	17	学校保健	16	食品保健	2	国際保健	4
公衆衛生	5	健康教育	10	献血事業	12	循環器	16	障がい者保健	16	感染症対策	2	感染症対策	2
上下水道	4	公衆衛生	9	僻地医療	9	老人保健	15	社会復帰	14	老人保健・介護	1	その他	2
受賞数	68		81		89		111		134		102		98

(受賞理由が複数の場合もある)

表2 個人

第1～10回	件数	第11～20回	件数	第21～30回	件数	第31～40回	件数	第41～50回	件数	第51～60回	件数	第61～70回	件数
結核対策	9	医療実践	18	結核対策	16	医療実践	9	医療従事者教育	8	地域保健・地域医療	13	地域保健・地域医療	13
ハンセン病対策	9	結核対策	14	医療従事者教育	10	健康教育	7	医療実践	7	感染症対策	7	難病・障がい者保健	8
医療実践	6	医療従事者教育	13	健康教育	9	結核対策	6	学校保健	6	精神保健	7	精神保健	7
寄生虫対策	5	健康教育	9	僻地医療	6	ハンセン病対策	5	ハンセン病対策	6	難病・障がい者保健	5	健康増進・疾病予防	4
伝染病対策	4	母子保健	7	伝染病対策	6	母子保健	5	母子保健	6	国際保健	5	感染症対策	4
母子保健	4	寄生虫対策	6	社会復帰	5	社会復帰	4	検診	5	老人保健・介護	2	高齢者保健・介護	3
基礎研究	4	学校保健	5	寄生虫対策	5	医療従事者教育	4	がん対策	4	健康増進	1	母子保健	3
上下水道	4	伝染病対策	5	精神保健	5	国際保健	4	健康教育	4	母子保健	1	国際保健	3
国保事業	3	上下水道	5	国際保健	4	検診	4	国際保健	4	学校保健	1	学校保健	2
医療品	3	基礎研究	5	看護	4	寄生虫対策	4	僻地医療	3	歯科保健	1	少子化対策	2
受賞数	60		70		52		33		37		49		51

(受賞理由が複数の場合もある)

<ご参考>

推薦協力依頼をしている関係機関および団体等抜粋

国立社会保障・人口問題研究所	日本失明予防協会
国立健康・栄養研究所	前立腺研究財団
国立感染症研究所	高齢者眼疾患研究財団
国立保健医療科学院	日本二分脊椎・水頭症研究振興財団
医薬基盤研究所	日本透析医会
国立がん研究センター	日本栄養士会
国立循環器病研究センター	日本調理師会
国立精神・神経医療研究センター	結核予防会
国立国際医療研究センター	日本精神保健福祉連盟
国立成育医療研究センター	がん研究会
国立長寿医療研究センター	日本対がん協会
国立医薬品食品衛生研究所	日本腎臓財団
各地方厚生局	日本アイバンク協会
放射線医学総合研究所	日本リウマチ財団
東京大学医科学研究所	日本糖尿病財団
労働安全衛生総合研究所	放射線影響研究所
国立障害者リハビリテーションセンター	日本臓器移植ネットワーク
国立病院機構	循環器病研究振興財団
日本キリスト教海外医療協力会	エイズ予防財団
全日本ろうあ連盟	老人病研究会
日本障害者リハビリテーション協会	日本心臓財団
日本障がい者スポーツ協会	難病医学研究財団
全国腎臓病協議会	日本骨髄バンク
日本筋ジストロフィー協会	全国生活衛生同業組合中央会
日本重症心身障害福祉協会	日本薬剤師会
全国肢体不自由児者父母の会連合会	全国社会福祉協議会
国際医療技術財団	骨粗鬆症財団
長寿科学振興財団	日本家族計画協会
日本医師会	日本肢体不自由児協会
日本歯科医師会	母子衛生研究会
日本獣医師会	日本産婦人科医会
日本看護協会	国民健康保険中央会
日本助産師会	船員保険会
日本診療放射線技師会	日本医学会
日本臨床衛生検査技師会	済生会
日本理学療法士協会	全国厚生農業協同組合連合会
日本作業療法士協会	日本学校保健会
日本柔道整復師会	日本製薬団体連合会
日本鍼灸師会	日本医療福祉生活協同組合連合会
全日本鍼灸マッサージ師会	てんかん治療研究振興財団
日本あん摩マッサージ指圧師会	神経研究所 精神神経科学センター
日本歯科技工士会	日本健康・栄養食品協会
日本歯科衛生士会	日本環境整備教育センター
日本病院会	日本NPOセンター
全日本病院協会	NPOサポートセンター
日本医療法人協会	ユニバーサル志縁社会創造センター
日本医療社会福祉協会	日本フィランソロピー協会
日本視能訓練士協会	東京ボランティア・市民活動センター
日本精神科病院協会	大阪市ボランティア・市民活動センター
日本精神科看護協会	健康・体力づくり事業財団

※法人格等は省略させていただいております。



第75回贈呈式にて（2023年12月20日）

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group